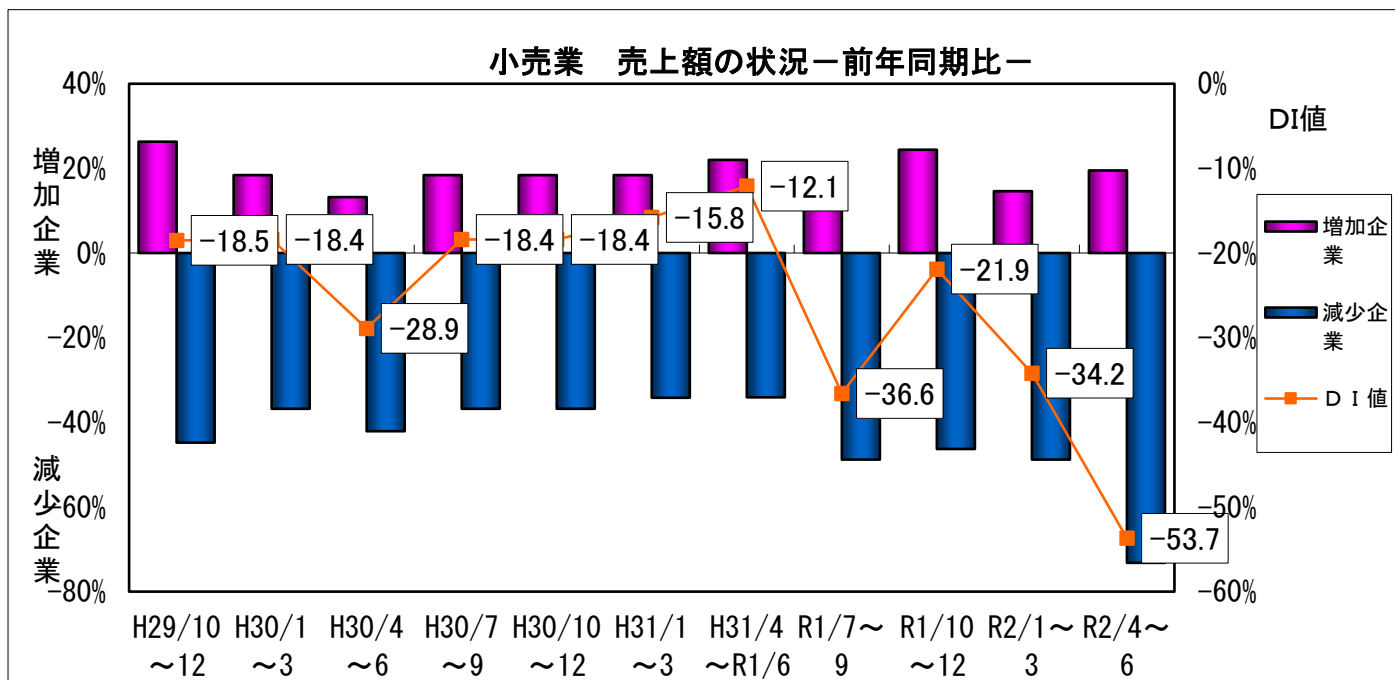


(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

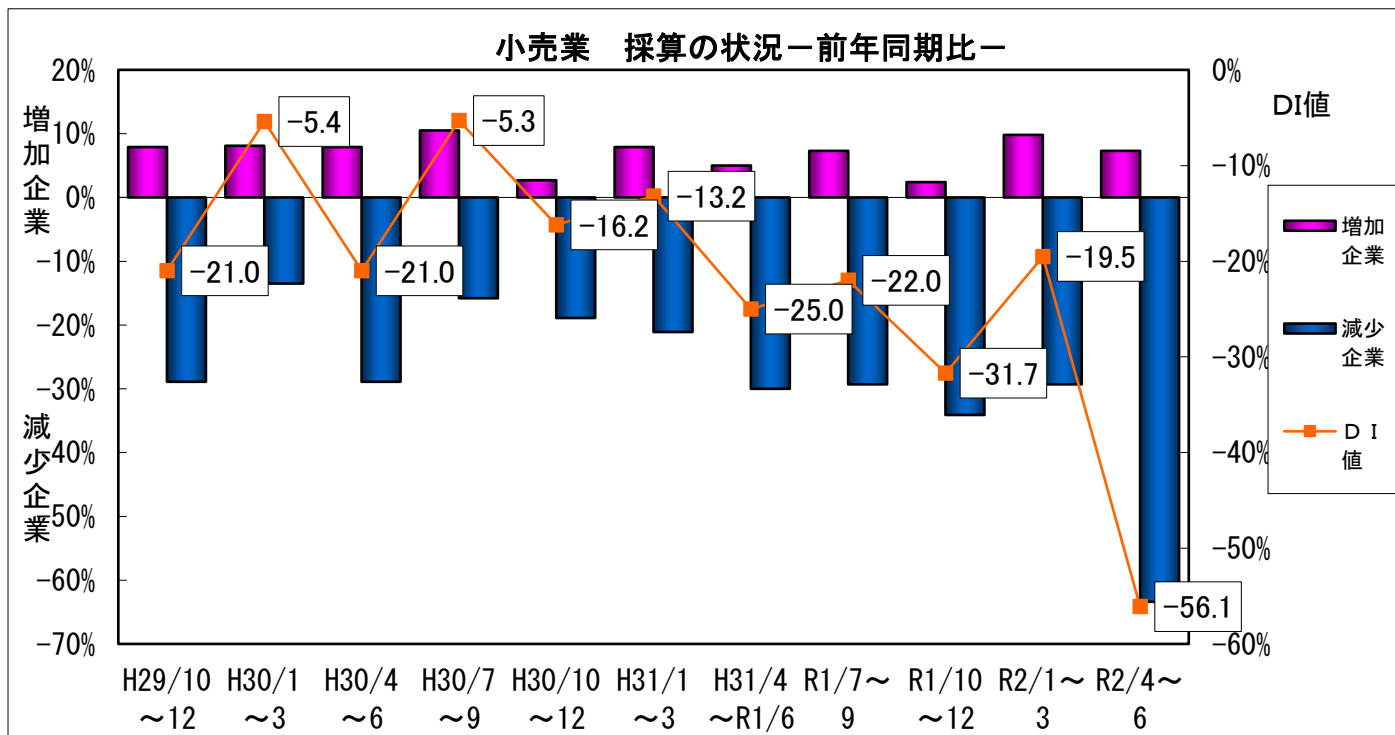
①売上額 (前年同期比)

今期の売上額D I 値は▲53.7。前期の▲34.2から▲19.5ポイント下降した。
 来期の見通しは▲73.2とさらに下降と予想される。



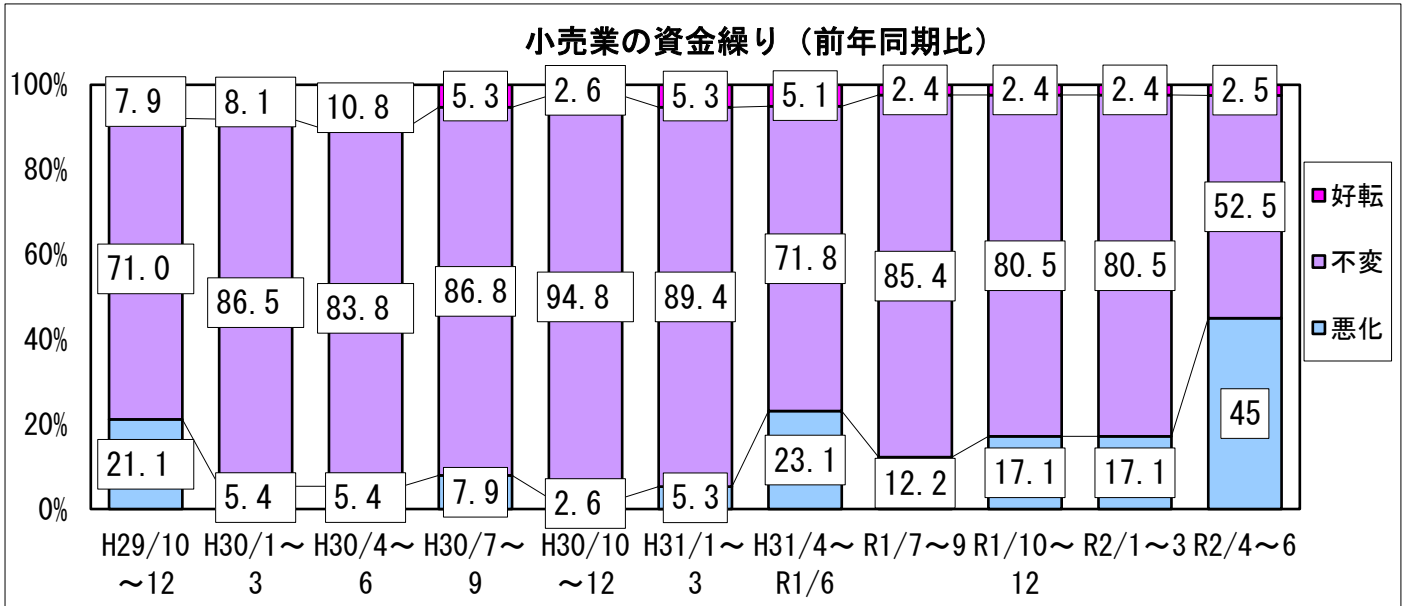
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値は、▲56.1。前期の▲19.5から▲36.6ポイントと大幅に下降した。
 来期の見通しは、▲65.8とさらに下降と予想される。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は▲42.5。前期の▲14.7から▲27.8ポイントと大幅に下降した。来期の見通しは▲45.0とマイナスでの横ばいではあり、改善されない予想である。

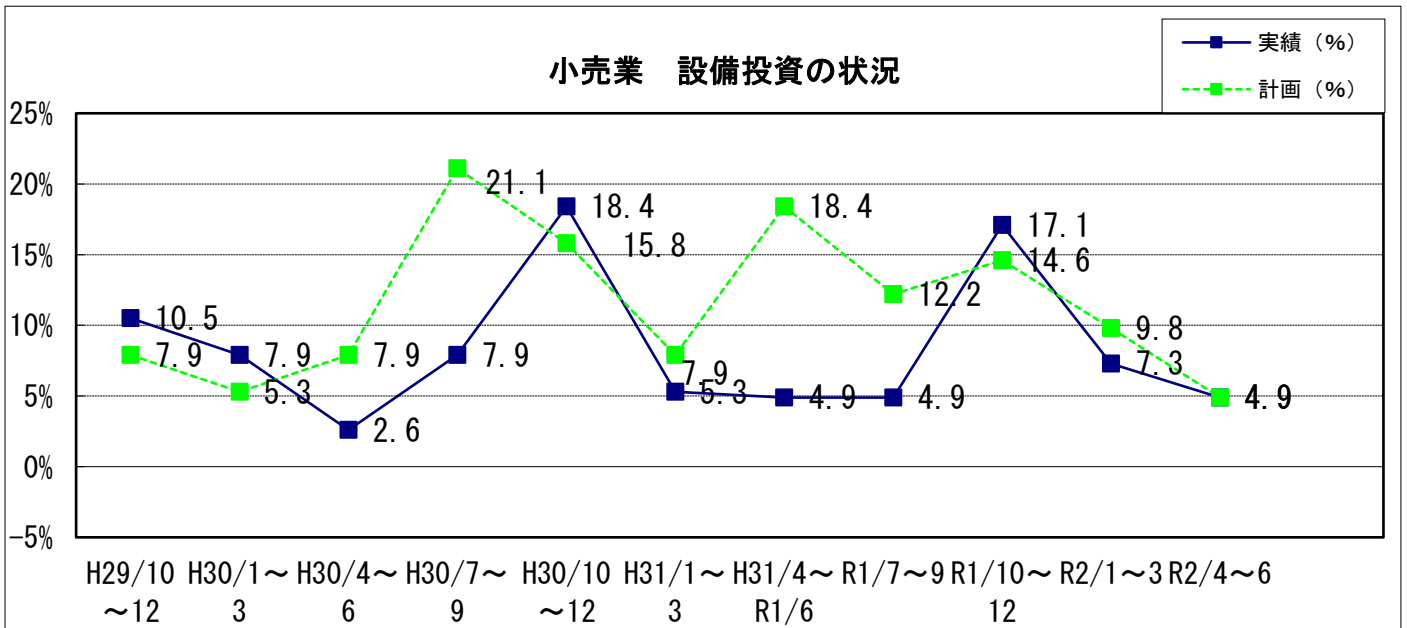


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	店 舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	0	0	0	0	1	0	2	38
(%)	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	92.7
今期実施 (実数)	2	0	0	0	1	0	1	0	0	39
(%)	4.9	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	95.1
来期計画 (実数)	2	0	1	1	0	0	0	0	0	39
(%)	4.9	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.1

今期設備投資を実施した企業は2社(4.9%)。前期(令和2年1月~3月期)の実施企業3社(7.3%)から1社減少した。来期は2社(4.9%)が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 39.0%→今期 60.0%)
- ・ 「消費者ニーズの変化」 (前期 36.6%→今期 42.5%)
- ・ 「購買力の他地域への流出」 (前期 39.0%→今期 27.5%)
- ・ 「その他」 (前期 7.3% →今期 27.5%)

となっている。

